

## 危険な気体 – 音も姿もなき殺し屋

こちらは、英文記事「[Dangerous gases – silent and invisible killer](#)」（2019年8月13日付）の和訳です。



危険はどこに潜んでいるのでしょうか。密閉区画への立入前に危険なガス量を測定する際には、空気に対するガスの比重を考慮する必要があります。例えば、メタンガスは空気よりも軽く、一酸化炭素は空気とほぼ同じ重さで、硫化水素は空気よりも重いことに留意が必要です。このようにガスの分子量には差があることから、密閉区画への立入前にガスの測定を確実にを行うには、区画内の複数の高さで測定を実施する必要があります。

以下の情報も参考にしてください。

Gard 啓蒙キャンペーン「[Enclosed space entry training（密閉区画への立入訓練）](#)」

Gard Alert「[音も姿もなき殺し屋](#)」

損失防止ポスター「[Dangerous gases（危険な気体）](#)」

[IACS Confined Space Safe Practice（国際船級協会連合 閉所での安全な作業実施）](#)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。